

彼方「あなた」

校長通信
H30.7.13
Vol.13

【感謝の歌声交歓会】



七月十三日（金）

の全校歌声交歓会
は忘れられない行
事のひとつとなり
ました。

三年生の歌声に
は、二年生の顔も
一斉に上がり、真剣
な顔で聴いていま
した。「自分たちも

三年生になったらあーゆー風に、ゾクゾクつ
と鳥肌が立つような演奏ができるかなー。」と
いうような面持ちでした。

でももっと感激したのは、各学年ともその
学年らしく歌っていたことです。各学級とも
心ひとつにして練習し、本番を迎えることが
できたことです。三年生がしつかりと後輩の
モデルになったことです。二年生が、次につ
ながるような発表ができたことです。一年生
が僅か三カ月で中学生の歌になっていたこと
です。学級紹介をする代表者が原稿を見ずに
自分たちのクラスアピールができたことです。
どの学年も最高のパフォーマンスを目指して
取り組んでいたことに改めて感謝したいと思



気づけ、元気づけ、笑顔に変えて欲しいと思
います。そのためには、今までになかったよ
うなレベルの高い演奏と演奏会にふさわしい
レベルの高い聴く姿を作らねばなりません。

同じことを目指していても表現の違いで
様々なものが創り出されます。それが学級の
個性です。何のために合唱を創っているのか
を意識し、学級のカラーを大切にしながら二
学期に向かつて欲しいと思います。容易なこ
とではありません
が、是非白山中みん
なで取り組んでい
きたいと思えます。

金子みすゞさん
の「私と小鳥と鈴と」
という詩の中に「み
んなちがつて、みん
ないい。」という一
節があります。まさ



います。本当にあり
がとうございました。
そして歌声委員長
が閉会式で話してい
たように、この取り
組みを二学期の合唱
コンクールにつなげ
て欲しいと思います。
各学級が、演奏する
姿で周りの人達を勇

にその言葉
通り、それぞ
れの学級の
カラーは、
「みんなち
がつて、みん
ないい」ので
す。一人一人
の声を重な
って、お互い
の音を、良さ
を聴き合う
ことで自信
を持つて表

現しているところが魅力なのです。そういう
姿や合唱を目の当たりにした時、聴く人の心
を揺り動かすのだと思います。校長室に聞こ
えてくる毎朝、帰りの会の歌声にさらに磨き
をかけ、二学期後半に行なわれる合唱コンク
ールでは、聴きにきた人達が本当にワクワク、
ドキドキするような素晴らしい演奏が繰り広
げられるのを楽しみにしたいと思います！

最後に、この会を企画・運営した歌声委員
会の皆さん、各学級の指揮者、伴奏者、パー
トリーターに改めて敬意を表し、心の底から
感謝を述べたいと思います。本当にありがと
うございました。皆さんのおかげで、一学期
を締めくくるとてもよい学校行事が出来上が
りました。

